



“ホット”なネットワーク!

# かんちゃん通信 第7号

あじさい号 2017年6月23日発行

ともに大切に育みたい

## 子どもをまん中に “ホット”なコミュニティを!



チャー・ヨー・チン（揚げ春巻き）

「作るの ちょっとむずかしかったけど、

かッという音がして おいしかったです」



細く巻くのがコツだって♪

### ベトナムの「食べ物」

#### 「お話」「遊び」



小さくて、食べやすく、パリパリしていて、日本の春巻きとちがってびっくりしました。（発見!）

リンさん、ありがとうございました!

ベトナムと日本のライスペーパーのちがってる。（発見!）

5月のかんちゃんホットルーム「ベトナムの文化・遊びを体験しよう」は、市内在住のベトナム人のチャン ダン コアさん、レーティミ リンさんご夫妻を迎えて、お話を聞いたり、揚げ春巻きづくりの体験をしたりしました。参加者は、前回に続いて総勢50人規模になり、近くの老人憩いの家に会場を移して開催しました。子どもたちの体験を通じての「気づき」「発見」「おどろき」・・・一つひとつを大切にしていきたいものです。

ベトナムの数字がおもしろかった。はつ音が、むずかしかった。



チャンさんのお話、楽しかったです!

（「滋賀県のびわ湖タワーがダナンに来た」というお話）びわ湖タワーがベトナムに引っ越したんですね!びっくりです!（お母さん）



おねがい(^^♪ 「かんちゃんの小さな家サポーター(友の会)」 会員募集中!

ホットルーム（子ども食堂）やこども・若者支援に取り組むボランティアグループ

“かんちゃんの小さな家の活動”を応援してください! よろしくお祈りします♥

子どもたちに笑顔が♪ **かんちゃんホットルーム**

第5回(4月)のテーマは「沖縄」

歌 踊り 三線の演奏

すっかり沖縄気分でした(^\_^)

かんちゃんホットルーム(子ども食堂モデル事業)は、およそ月に1回のペースで開催しています。3月は「いろんなコマづくり」、4月は「沖縄の文化」、5月は「ベトナムの文化」と多彩な内容。お昼の食事は「地元の食材を使ったお好み焼き」「タコライス」「揚げ春巻き」等で、かんちゃんの小さな家では子どもや参加者による「作る体験」を大切にしています。

活動している子どもたちから、いい表情がたくさん見られます！



三線サークルくる(心)の皆さん6名による演奏や紙芝居、かんから三線・沖縄の衣装体験等、とっても楽しい内容でした。7月に第2回目を予定しています。



◇子どもたちがいて、お年寄りがいて、外国人がいるっていう集団で演奏するのは初めてでした。私たちも楽しかったです。(「くる」のメンバー)

◇タコライスのからいのが、とてもおいしかったので、おかわりしました。きものをさせてもらって、うれしかったです。(小学生)

◇沖縄の唄や踊りを教えていただき、覚えやすく楽しかったです。衣装も着せていただき、子どもたちよりも大人の方が盛り上がっていました。すてきな体験ができました。(保護者)

◇あっという間の交流会でした。すっかり沖縄気分になりました。若い人たちとの交流は、気持ちも明るくなります。昼食のタコライスは、初めていただきおいしかったです。(お年寄り)



お母さんたちも衣装体験♪

地元の食材を使った(八幡こんにゃく・すじ肉・ネギ)お好み焼きおいしかったね！

たのしい! **かんちゃんホットルーム**



いろんなコマを作ったよ！



お兄さん、お姉さんも一緒に楽しく過ごしました！



# 入学（園・所）に向けた“相談会・交流会”を開催

“第13回多文化共生・地域交流会” 3月12日（日） 於：安土小学校体育館（交流ホール）

「ホッとできる雰囲気でした」（交流会）



「ホントだ！炊飯器で簡単に作れたね」（ケーキ作り）



「わからないことを教えてもらって とっても心強かったです」（相談会）

振り返れば、今年1月の交流スタッフミーティングで「小学校入学に向けて、外国人の保護者は不安や戸惑いの中にいます。心配なことなどを気楽に話せる場が必要です。」

「子どもを初めて入学させる日本人の保護者も同じですね。」「でも、相談できる人や場がないのです。」といった実態が出されたことが取り組みの出発点でした。それから2か月後の多文化共生・地域交流会を「相談会・交流会の機会にしていこう」と話し合い、市の教育委員会、市内の小学校の協力のもとで、急ピッチで取り組みをすすめました。



当日は、外国人親子（3家族）と日本人親子（2家族）

## 【3月12日の内容】

- 13:00 はじめまして！みんなの紹介
- 13:15 子どものヘルシーなおやつ作り  
（3グループでケーキ作り）
- 14:00 入学・入園に向けた説明と質問会  
子どもたちはみんなで遊ぼう会
- 15:00 交流会 （～15:30）

の15名の参加者を迎えた、11名のスタッフとともに「なごやかな交流の場となりました」「この初めての試みを、これからに向けた貴重なスタートに！」とスタッフ一同、受けとめています。参加したスタッフの感想を紹介します。



## 相談・運営スタッフ（チーム「かんちゃん」）

通訳（ポルトガル語 2名、英語 1名）／保護者（1家族・2名）／小学校教員（2名）／保育士（1名）／ソーシャルワーカー（1名）／日本語指導員（1名）／教育相談員（1名）

## 通訳スタッフより

◇学校の説明会では専門語が多く、優しい日本語ではないですね。「下校時」や「登校班」「集金袋」「給食費」「引落口座」…そして、「PTA」「子ども会」??? どういう意味かわからないです。学校の説明は、同時通訳しても追いつかないし、専門用語続出の状況では？

◇やさしい日本語って、決して一つの正解がある訳ではありません。ブラジル人やペルー人にはひらがなが打ってあると読みやすくなります。中国人は、逆にややこしくなります。漢字の方がいいですね。大事なのは、個別のニーズを受けとめること、相手の人に理解してもらうことです。

◇「親の服装を整えるって、どういうことですか」という質問がありました。何年前のこと、ブラジル人が入学式にポロシャツとジーンズで行きました。お父さんたち、みんなネクタイしているのを見てびっくり!! 服は持っていたのに、とっても恥ずかしく悔しい思いをされました。日本人には、当たり前だけど、外国人にはわからないことです。

## 相談スタッフより

◇幼稚園の入園にあたっての持ち物を中心に質問がありました。「カラーキャップや防災頭巾に付けるフェルトは、どうするのですか?」「上靴のかかと部分に付けるループって?」等。「入園のしおり」に書いていない細かな部分がわかりにくくて困っておられました。自分の園でも、もっとこちらから声かけをして一緒に考えていきたいと思います。（保育士）

◇学用品などの準備について、「入学前にするのか、入学後なのかの区別がよくわからない」という点や、「案内のプリントから実物がイメージできないので、何に使うのかわからない」と話された点などは、私の方が改めて気づかされました。今日は、たくさん勉強になりました。ありがとうございました。（小学校教員）

子どものことばの魅力とは

「子どもの短いひと言ひと言が

子どもを考えるうえでのヒントに溢れている」

特集



(息子とお母さんの会話より)

「どうしてお月さんは

ぼくの後をついてくるんやろう」

(玄関まで到着すると)

「お月さん 家までついてきた」

村上 薫 さん

(学童保育指導員:大阪府)

同人誌『子ども』の編集局を15年間つとめられた村上薫さんをお願いして、「子どものことば&エピソード」を「かんちゃん通信」で創刊号、第2号、第4号の3回に渡って掲載しました。ここでは、「子どもの言葉を編集されるようになったきっかけ」について、村上さんの思いを紹介します。

(野原でサワサワと揺れるススキを見ていた子どもが、後ずさりして)

「ススキが おいでおいでをしている」

「どうして、子どもの言葉に着目したのでしょうか」との質問を、かんちゃんからいただきました。

同人誌『子ども』に「子どものことば」を発表してから15年以上経ちますが、すぐに私の頭に浮かんだのは、「面白いから」でした。日常何気なく使われ、すぐに消えていく言葉の中に、どのようなものがあり、何故それを「面白い」と思うのでしょうか。

自転車の後ろに4歳の息子を乗せて走っていた時のこと、息子が「どうしてお月さんは、ぼくの後をついてくるんやろう」。玄関まで到着すると、「お月さん、家までついてきた」。その言葉を聞いていると、「月」という物ではなく、「お月さん」という者が、私たちを輝く光で、そっと見守ってくれているのだという気持ちになりました。

学童室で働くようになってからも、子どもたちから様々な言葉を聞きます。「どこへ行ってきたん？」という質問に、「わんぱく公園、太陽の塔のあるところ」。子どもは単にいい間違いをしたか、そのような言葉で理解していたかもしれませんが、「万博公園」より「わんぱく公園」の方が、遊び場のイメージにぴったりです。

野原でサワサワと揺れるススキを見ていた子どもが、後ずさりして「ススキが、おいでおいでをしている」と怖そうに言いました。ススキの揺れる様子に、その子は不気味さを感じたようです。

子どもが遊び道具の取り合いで喧嘩になった時、「じゃんけんで決めたら？」と言った私に、「なんで、先生に決められなあかんねん」と1年生の男子。そうです。「喧嘩をせずに、さっさとじゃんけんでもして決めちゃえば」と大人が勝手に言っているわけで、子どもはそこを鋭く突いてきます。

私たち大人は、知らず知らずのうちに、いろいろなものへの固定観念に捕らえられています。子どもの言い間違いや、とらわれのない発想や発見、子どもの独自の理解や言葉使い、鋭い指摘や感性が、大人の中にある固定観念をズラしたり崩したりして、物事への新しい意味や新鮮な発想を呼び覚ましてくれます。そして、日常の何気ない言葉の中に、子どもたちの学校や家庭での様子やその子どもの気持ちを垣間見ることができます。

子どもの短いひと言ひと言は、私たち大人が子どもを考えるうえでの様々なヒントに溢れていると思うのです。



かんちゃんの小さな家

## 交流のひろば



### 「子ども食堂」私のイメージに変化が！

#### ～かんちゃんホットルームに参加して～

私が思っていた「子ども食堂」のイメージとは違っていました。「かんちゃんホットルームのスタイルもいいなあ」と思いました。

子どもを中心にした地域の大人や外国人の交流は、互いのつながりをつくるきっかけに、また、様々な文化にふれる機会づくりになっていると感じました。かんちゃんの小さな家では、「コミュニケーションの大切さ」に焦点をあてていることや、ボランティアも一緒に子どもたちと楽しんでいる様子が印象的でした。

県内外の多くの人々とのつながり、ネットワークを大切にしているというお話や、継続させていくことの課題なども聞かせていただきました。これからもよろしくお願いします。



学生ボランティア

奥村 遥さん(京都市)

## 「友の会」のメンバーさんからのメッセージ その1

- ◇かんちゃん通信に掲載されている写真から、かんちゃんの小さな家の温かで居心地のいい雰囲気が伝わってきます。うかがえる日を楽しみにしています。(東京都)
- ◇回数を追うごとに紙面が充実していますね。活動の幅と広がりを感じます。今の時代に求められている活動です。大変ですが、広め、深めていってください。陰ながら、応援させていただきます。(山梨県)
- ◇桜はまーだまだですよ。我が家の裏は、雪が残ってまーす！！(4月)かんちゃん通信を楽しみにしています。(福島県)
- ◇「通信」ありがとう！かんちゃんの小さな家の取り組み…「共生」同感です。(鹿児島県)

※「皆さまからのメッセージ」のコーナーは、次号に続きます。 ※「友の会」の入会ありがとうございました。「交流のひろば」への「おたより」もお待ちしております。

### 今、私が望んでいること

#### ～通訳という立場で新しい職場に勤務して～

来日して 24 年目になった！（時間は早くたつものですよ！）親から伝えられた「憧れの日本」と現実のギャップは大きかったです。

ご縁があって、ほぼ 20年間、近江八幡市行政で通訳・翻訳業務にかかわってきました。その中で外国人または外国にルーツがある人は、いろいろな壁（言葉の壁・制度の壁・心の壁）を乗り越えなければならぬと実感しました。言葉は磨けば上達します。制度は市民・国民が変えようとすれば変わっていきます。でも…心の壁は、常に見えないところで、高くなったり低くなったりします。

現在、特別支援学校で通訳という立場で新しい分野での仕事が始まり、新たな出会いがありました。ていねいに子どもたちと接する先生たちに感動しました。でも、そこで出会った保護者さんの、子どもに関する悩みや心配ごとが頭から離れないのです。「毎日の暮らしの中で、どんな情報を必要とされているのか。」…かんちゃんの小さな家の活動の中で、当事者の方々と私たちスタッフが、互いに本音でトークできる時間を設けられないか…と思いをめぐらせていました。

このような望みって叶えられるのかな～？と希望を抱く毎日です。



かんちゃんの小さな家スタッフ

前田オルガ豊子さん(近江八幡市)

## 学びのご案内

### スクールソーシャルワーク研究会しが主催

#### 第3期（2017 年度）R J 講座のお知らせ

#### サークル・ファシリテーションの基礎と実践編 ～様々な対象と目的に合わせたサークルの展開～

第3回 9月30日（土）

第4回 11月11日（土）

第5回 2018年2月17日（土）

◇会場 野洲市・近江八幡市

◇講師 郭 理恵さん

（NPO法人修復的対話フォーラム理事）

#### 「滋人教にんげん関係づくり実践講座①」

（滋賀県人権教育研究会主催）7月24日（月）

講師の郭理恵さんによる「修復的対話（RJ）」のワークショップが予定されています。会場：サンライフ甲西（湖南市）時間は13:30～16:30

問合せ先：077-525-5096（滋人教事務局）



相談ルーム／学習サポート教室／かんちゃんホットルーム(多文化共生・地域交流会：子ども食堂モデル事業)／スクールソーシャルワーク研究会しが／講座「修復的対話(RJ)」など  
☞詳細は「かんちゃんの小さな家 ホームページ <https://kancyan-house.com/>」をご覧ください！

## 子ども・若者相談ルーム



子育てや学校生活・卒業後の進路等で、困ったこと、気になることがあれば声をかけてくださいね！

**毎週水曜日の午後13:00～18:00**

他の曜日の場合は、個別に相談に応じます。  
保護者・支援の方の相談も可(要予約)  
お問合せ(かんちゃんの小さな家  
携帯090-3708-3315)

## スクールソーシャルワーク研究会しが SSW7月例会

7月 30日(日)13:30～16:00

会場 コミュニティセンターきたの(野洲市)

**テーマ 子ども・若者の支援と「発達障害」**

◆ゲストスピーカー 川崎 誠一さん  
(湖北地域しょうがい者相談センター)

**“応援” よろしく  
お願いします！**

☞かんちゃんの小さな家  
友の会に入会してください  
☞活動支援カンパを  
お願いします



友の会・活動支援カンパの振込口座  
振込先銀行 滋賀銀行  
支店名 安土支店  
口座種別 普通  
口座番号 403489  
口座名称 かんちゃんの小さな家  
代表 佐子 完十郎

※次号「第8号」は 11月の発行予定です！

## 交流会・研修会のご案内



### かんちゃんホットルーム

**第7回 7月2日(日) 10:30～13:30**

会場 常楽寺老人憩いの家  
(かんちゃんの小さな家から400m)

**三線サークルくる(心)の皆さんとともに  
お昼はトルティーヤを作しましょう♪**

◆参加費:子ども100円・おとな300円

**第8回 7月29日(土) 10:30～13:00**

会場 かんちゃんの小さな家  
**動物風せんを作って遊びませんか**

せせらぎ(編集後記)

◆かんちゃんの小さな家で、開設当初から飾らせてもらっている沖縄の伝統的織物「読谷山(ゆたんざ)花織」……かつて沖縄修学旅行のフィールドワークで、「命どう宝(命こそ宝)、平和とは創造するもの。積み上げていくもの。」と高校生に静かに、そして熱く語られた「地域ガイド風の会」の比嘉涼子さん。◆「すぐく自分の中に衝撃が走りました。私は、この方、比嘉さんなら何でも話せると思いました。涙が出るぐらい、自分のことを話したら、とても真剣に聞いてくださって、とても嬉しかったです。」…ある生徒の出会い、比嘉さんとの「心のであい」、そして自分と“向き合うのであい”でした。◆卒業するまでの間に、家のこと、将来のこと、進路の不安、人間関係のこと等「だれにも語れなかった心の内」を手紙に記した生徒は、決して少なくありませんでした。「花織」は、卒業式の日比嘉さんから贈られたものです。◆今回の「第7号」発行の6月23日は、沖縄の人々にとって忘れることができない特別の日、「沖縄慰霊の日」です。すべての人々が「平和を祈る日」です。(か)



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット  
**かんちゃんの小さな家**

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2  
携帯 090-3708-3315(代表 佐子) FAX 0748-46-3283  
e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp



